

HBS 研究部海外短期留学合同報告会を開催しました

11月11日、大塚講堂（蔵本キャンパス）にて、「HBS 研究部海外短期留学合同報告会」を開催しました。

本報告会は、海外の学術交流協定締結校等へ留学した学生が、自ら体験したことを帰国後報告することにより、他の学生の国際的視野も広げ、本学の国際化を促進させることを目的として、平成23年度から開催しています。今年度の報告会は、苛原稔 HBS 研究部長／医学部長の開会のご挨拶で始まり、医学部、歯学部、薬学部の学生が、海外留学の体験とその成果を報告しました。

報告会では、テキサス大学（米国）、ガジャマダ大学（インドネシア）、ムハマディア大学（インドネシア）、ノースカロライナ大学（米国）、ハノーバー医科大学（ドイツ）、ソウル国立大学（韓国）、ヘルシンキ・メトロポリア応用科学大学（フィンランド）、モンゴル健康科学大学（モンゴル）へ留学した学生が体験報告を行いました。

留学期間は、数日から数か月までと様々ですが、留学先での研究の成果、異文化の中で学んだこと、英語をはじめとする外国語でのコミュニケーションの難しさや大切さ等について貴重な体験が報告され、参加した教員や学生が熱心に耳を傾けていました。

最後に、市川哲雄 HBS 副研究部長／歯学部長による閉会のご挨拶があり、報告会を終りました。



苛原 HBS 研究部長／医学部長



報告会の様子



発表者全員と市川 HBS 副研究部長／歯学部長他関係教員による記念撮影